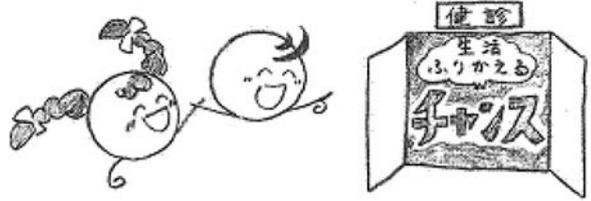


健康診査を受けましょう！

健診は「生活習慣を振り返る絶好のチャンス！」



保健医療課 保健師
松本麗華

庄原市生活習慣病健康診査が始まります

定期的な健診で自分の身体の状態を知ろう

健康診査は、自分自身の身体を調べ、病気の早期発見・早期治療に結び付けるものです。また、定期的に受けていけば過去の自分と比較して「自分の生活習慣が自分の身体にどのように影響しているか」を知ることができます。

健康診査は大きく分けて特定健診とがん検診の2種類あり、特定健診は血液検査や腹囲測定などで身体の状態を調べる検査を中心に行うので、生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防に有効です。

がん検診推進中！

がんは昭和54年から日本人の死亡原因の第1位。がんにかかる人は40歳代から増加しています。症状がないまま進行するがんを早期に発見するには、定期的ながん検診を受けることが重要です。

庄原市国保では、健康診査を都合により受けられなかった方のために2次募集を行ったり、該当する方には電話で受診を勧めたりしています。また、がん検診は土曜日でも受けられるようにしています。

庄原市の特定健診、がん検診の受診率(%)

健診の種類	平成21年度	平成22年度	平成23年度	県平均(平成23年度)
特定健診	34.8%	36.5%	38.0%	19.4%
肺がん検診	22.3%	21.2%	22.7%	16.1%
大腸がん検診	21.6%	20.7%	23.0%	17.3%
胃がん検診	19.2%	17.5%	18.5%	10.3%
乳がん検診	30.4%	18.5%	20.7%	24.0%
子宮がん検診	21.6%	22.5%	27.1%	29.1%

現在、行政文書で「平成25年度庄原市生活習慣病健康診査のご案内」を各戸にお届けしています。健康診査は健康を振り返るチャンスです。お申し込みは、保健医療課健康推進係（☎0824-73-1255）まで。

※特定健診の受診率は年々上がっていますが、国が示している目標値の65%には到達していません。
※女性のがん(乳がん・子宮がん)検診の受診率は、県の平均値に比べて低くなっています。

がん検診

国によって、がん死亡率を減少させる効果があると認められた5つの検診

				
胃がん検診 年1回受診	大腸がん検診 年1回受診	肺がん検診 年1回受診	乳がん検診 2年に1回受診	子宮がん検診 2年に1回受診

※がん検診の対象年齢は40歳(子宮がんは20歳)以上です。
もし、「精密検査が必要ですよ」と言われたら、怖がったり、面倒がったりせず、早めに医療機関を受診しましょう。